



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校
学 校 だ よ り
令和7年度 7月号

【 地域との防災学習 】

日本豪雨から7月6日で7年です。亡くなった方々を悼み、真備支所には、献花台が設置され、倉敷市の伊東香織市長が花をささげました。本校でも職員・生徒が献花し祈りをささげました。



2018年7月6日、西日本を中心に記録的な大雨が降り続き、倉敷市真備町では地区全体で8つの堤防が決壊し、町の広範囲が水につかり、災害関連死を含めて74人が犠牲となりました。昨年5月には復興のシンボルとして市が整備した「まびふれあい公園」に復興状況視察のため天皇皇后両陛下が訪問されるなど着実に復興への歩みを進めてきた7年です。

本校では、災害が起こったときには、自分を守り、ともに助け合いながら避難行動ができるように、毎年、この時期に防災学習をすべての学部で行っています。被災し、4校地に分かれて学んだ経験のある生徒もだんだん少なくなってきました。今、みんなが倉敷まきび支援学校に集い、学ぶことができていることに感謝したいです。防災学習を通して、7年前の災害を忘れず、教訓として学び、本校の発展につなげたいと思います。学習の様子を一部紹介します。



A中1年生は、7月7日に、地域の方をお呼びして、防災学習を実施。真備の被災した時の様子を経験された地域の方からのお話を聞いたり、写真を見たりしました。被災の様子に驚くとともに、今後、どのようにしたらよいか等を考える時間になりました。



A中3年生は、総合的な学習の時間で真備のことについて学習しています。7月1日に真備支所の角南さんに来ていただいて、真備のこと、被災のこと、被災から復活して真備・船穂総おどりの意義等、お話をいただいたり質問に答えていただいたりしました。また、真備・船穂総おどりで、地域に明るい踊りを届けることができるよう、うちわを作りました。当日心のもったうちわで踊ります。そして、お祭りに参加の皆様、ぜひ沿道からうちわをご覧になりつつ、応援よろしくお願いいたします。

(校長 金島 一顯)

※A中3年生は学習の様子取材を受け、7月9日山陽新聞朝刊に掲載予定とのことです。

【 夏の交通事故防止 】

7月1日～8月31日は、夏の交通事故防止 実施期間です。

いよいよ本格的な夏がやってきます。夏休みシーズンは、イベントや旅行等、外出の機会も増えます。交通事故に気をつけて楽しい夏になりますように。

○レジャーシーズンは、道路が大変混雑します。お出かけの際は、渋滞に巻き込まれることも予測して時間に無理のない余裕のある計画を立てましょう。

○運転は、ゆとりをもって「ゆずる・とまる・まもる」無理をせず、早めに休憩。信号、合図を守りましょう。

○自転車の運転に注意しましょう。自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶりましょう。自転車保険の加入が義務になっています。必ず自転車保険に入りましょう。